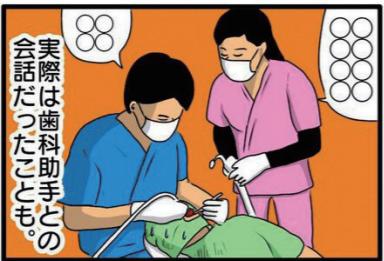
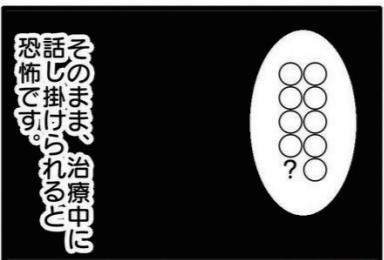


## コンビニでの小さな悩み



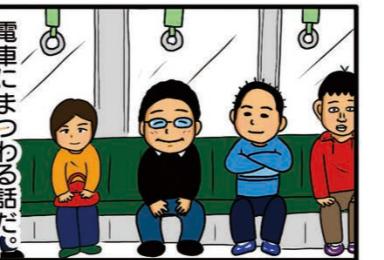
## 真っ暗闇の歯医者



## 呼ばれたかな？病院



## 満員電車で見えない



## 平本龍之介からごあいさつ



## プロフィール

平本龍之介（ひらもとりゅうのすけ）。本名は瀧本大介（たきもとだいすけ）。昭和55（1980）年生まれ。西町在住。川崎市ろう者協会新聞で「ひらもとの人生道」、西日本新聞で「僕は目で音を聞く」を連載中。三児の父。

## 誰もが暮らしやすいまち

市は、障害のある人の差別解消と権利擁護を重点的に進めるため、イベントや講演会などの啓発活動の他、施設や情報のバリアフリー化に取り組んでいます。今後は、当事者団体や連団体で構成する「障害者の有無にかかわらず誰もが安心して暮らせるまちを目指し、取り組みを進めます。障害者福祉課（☎ 094-30-9035、FAX 094-30-9752）

## 障害者差別解消へ

4コマで描く  
聞こえない世界

障害者差別解消法が施行されて2年。久留米市在住で聴覚に障害がある漫画家・平本龍之介さんの作品を通して、「配慮」を考えます。

**漫画を気付きの糸口に**  
漫画のおかげで、周りの対応が改善したことも。「病院の受け付けで、耳が聞こえないことを示したのに、診察する医者に伝わっていないことがあります。それを漫画にして病院になると、カルテに挟む『筆談マーク』を受け付けに置いてくれるようになります。小さなことですが、他の障害のある人の助けになつたのかなと思います」。

漫画を通して障害に関する話。障害のある人は、聞こえない人が困っているか分からぬ状況をどう伝えていいか分からないんです」と平本さんは言います。

平本さんは、イラストレーターの父の影響で小学の頃から漫画を描き始め、現在、西日本新聞で連載しています。平本さんの漫画は、聴覚障害者の「ある話」。障害のある人は、気持ちを弁してくれる人は、聞こえない人が何に困っているか分からぬ状況をどう伝えていいか分からないんです」と平本さんは言います。

平本さんは、イラストレーターの父の影響で小学の頃から漫画を描き始め、現在、西日本新聞で連載しています。平本さんの漫画は、聴覚障害者の「ある話」。障害のある人は、気持ちを弁してくれる人は、聞こえない人は、聞こえない人が何に困っているか分からぬ状況をどう伝えていいか分からないんです」と平本さんは言います。

## 当事者の気持ちを代弁